



謹賀新年



あけましておめでとございます。新春を迎えましたことを、心よりお慶び申し上げます。

さて、当院では昨年10月10日に55周年を迎え今年度も残すところあと三か月となりました。

月日が経つのは早いもので、50周年からこの5年間で、精神科総合病院として医療に特化するために体質改善を図ってきました。急性期、亜急性期、慢性期、そしてメンタルケア、合併症、認知症、児童精神等機能分化を進め、一昨年の新棟完成以後、病院全体のリフォーム、人材確保などとして体制を整備してまいりました。この間には、地域の皆様、病医院の先生方に、多大なご協力とご指導を賜りました。心より感謝いたしております。

昨年は東日本大震災や、台風被害など自然の猛威を見せ付けられる一年でした。被災された方の一日も早い復興とともに、皆様様が心穏やかな一年を過ごせますように祈念申し上げます。そして私たちは、求められる医療提供を徹底していきたいと存じます。本年もご指導くださいますようお願い申し上げます。

理事長
後藤田 公一

基本方針

人 権を重んじ、患者さんやご家族の「心のふるさと」になれるよう、患者さんの立場に立ったやさしい医療をおこないます。

最 新の医療知識と技術を身につけ、予防から急性期治療・リハビリテーション・在宅支援まで継続的な質の高い医療を提供します。

光 と風と緑」にあふれた、安全で快適な療養環境を提供します。

地 域の拠点病院として、行政機関や病医院・地域の方々と連携し、保健・医療・福祉に貢献します。

信 頼される医療サービスを提供するために、経営の健全化につとめ、すぐれた医療従事者を育てます。

2008.4.1 改定

院内

花

花の少ない時期ですが、木々が色付きはじめています。どうぞ足を止めてご覧下さい。

光風緑

だより



モチノキ

モチノキ科植物の一種。

学名: Ilex integra。別名: ホンモチ。

本州、四国、九州、南西諸島に分布する常緑の小高木。常緑広葉樹林に生育し、山地に生えるが、都会でもときどき公園などで見かける。葉っぱはすべすべ。4月頃に開花。実は晩秋に赤く熟す。

院内では、リハビリセンター前に鳥居のある、南宮を守るようにどっしりと立っています。冬の寒い空にも負けない凛とした赤い実が印象的です。

外来診察表

外来診察時間 / 9:00 ~ 12:00 (受付は11:30まで)

	月	火	水	木	金	土	
診 察	1 診	黒田	柏木	中井	横田	黒田	横田
	2 診	松島	野村	松島	野村	横井	横井
	3 診	西側	澤田	植田	澤田	西側	植田
	4 診	福田	子安	正路	橋元	西岡	
	5 診	佐野		川村	宮里	秋田	
	6 診	呉家	和田貴	吉田綾	吉田綾	土井	呉家
	7 診	村上智	村上智	小深田	和田大	作田	小深田
	8 診	西村	山田	西村	河野い	相馬	和田大
心	心 1	熊取谷	河野隆	作田	三秋	岩田	熊取谷
	心 2	宋	植月	荒川	清水喜	宋	植月

ご紹介いただく際は予めご連絡をお願いします
専門外来(睡眠・小児・往診・女性・口腔)は予約制です
医療機関からの入院・転院のご相談は地域医療連携室で承ります。
受診の前に下記へお電話ください。
電072-278-0381 電072-281-6615



診療科目

精神科 / 心療内科 / 児童精神科 / 内科 / 小児科 / 歯科

病床数

EPU 精神科救急 病棟 168床 (C1, H2, H3病棟)
児童精神科病棟 25床 (D1病棟)
亜急性期病棟 120床 (B2, C2病棟)
メンタルケア病棟 51床 (E2病棟)
メンタルケア病棟 35床 (E3病棟)
リカバリmix病棟 60床 (D2病棟)
老年期精神疾患病棟 60床 (D3病棟)
MPU 精神科合併症治療 病棟 51床 (H1病棟)
リハビリ 精神療養 病棟 60床 (F2病棟)
認知症治療病棟 60床 (F3病棟) 計690床

看護体制

精神科病棟 15:1 急性期病棟 13:1 救急病棟 10:1
看護師比率70%以上・看護補助 30:1

関連施設紹介

認知症疾患医療センター
訪問看護ステーションふれあい
居宅介護支援事業所
ヘルパーステーションはんず
ケアホーム / こもれび・青空・そよかぜ
堺市中区八田南之町277 阪南病院内 電072-278-0381
ケアホームあんずの郷
堺市中区八田北町309 電072-278-2233
地域生活支援センターゆい
堺市中区深井東町3134 電072-277-9555



当院は敷地内完全禁煙です



編集・発行 医療法人杏和会 阪南病院 地域医療連携室&総務課広報「光・風・緑」チーム

いきいき、たのしいところの健康づくりプログラム

11月27日(日)泉ヶ丘にあるビッグ・アイにて泉北ニュータウン再生府市等連携協議会活性化事業として『いきいき、たのしいところの健康づくりプログラム』が開催されました。寒さが増していく中、この日はわりと温かい日で、スタッフを含め約100名の参加がありました。

今年、地域で実施した『こころの日のイベント』、『安全な街づくりフェスティバル』での寸劇が好評で、街づくりフェスティバルの寸劇が終了時点で今回の依頼が入りました。

当日は『認知症の人の気持ちに響く理解ある対応について(寸劇と質疑応答)』をテーマに、会場からの具体的な質問に当院医師が応え、認知症病棟からは劇団員が寸劇を披露しました。病棟としては地域の方が認知症に少しでも接することができればと臨みましたが、練習もままならず、ほぼアドリブ状態になりました。しかし、会場からは、「また参加したい」、「理解が深まった」、「もっとやってほしい」などとお声をいただきました。さらに、「来年2月にも続編を」という依頼があり、いよいよ劇団を結成しなければと思っています。そしてこれからも積極的に地域へ出て、認知症をはじめとする病院への理解を深めていただけるよう活動していきたいと考えます。



堺市認知症疾患医療センター研修会

日本ではアルツハイマー型認知症、血管性認知症とともに三大認知症といわれるレビー小体型認知症。この病気は小阪憲司先生の研究報告により、国際的に知られるようになりました。その大変ご高名な小阪先生をお招きしての、堺市認知症疾患医療センター研修会は、参加者300名を超える大盛況の研修会でした。

12月3日、鳳のウェスティ大ホールにて認知症疾患医療センター研修会が、ケアマネジャー、ドクター、看護職の方など、日ごろ認知症の治療やケアに関わっている方を対象に開催されました。今年も当院が主催しての開催となりました。当日は、1時間前の受付開始から人が続き、開演の14時には会場はほぼ満席の状態、先生のご高名に改めて驚きました。ご講演は、アルツハイマー型、レビー小体型、血管性認知症のそれぞれの医学的特性や、事例から見る各症状や特徴など細かく、わかりやすくご説明になりました。

また、認知症の早期発見として軽度認知障害(MCI)の時点から介入、治療をすることが重要であるなど現在の認知症治療の方向性や、アンケートから得た、BPSD(徘徊・幻覚・攻撃的行動)に対する介護の実態調査からの考察など、幅広く、認知症全般についてお話くださいました。

研修会は第2部に「かかりつけ医との連携について」とのテーマで、話題提供がなされ、実際の医療現場での受入れの現況など意見交換がなされました。

堺市認知症疾患医療センター研修会	
プログラム	
14時30分	開会式 開演
15時00分	講演 認知症の医学的動向と治療(小阪憲司先生)
15時45分	講演 認知症の介護実践と地域連携(小阪憲司先生)
16時30分	講演 認知症の早期発見と介入(小阪憲司先生)
17時15分	講演 認知症の地域連携とケア(小阪憲司先生)
18時00分	閉会式 閉演

児童精神科領域研究会



昨年11月より児童精神科領域研究会を開催しております。当院では、児童精神科病棟立ち上げ以後、その存在や、治療内容、施設などを知ってもらうために、堺市内の小中学校や堺市はもとより府内、および近畿圏の児童相談所等へアウトリーチを行ってきました。その中で、現場で執務をとられる方々から、児童精神科領域での医療情報の不足を指摘

される声が多く寄せられたことを受け、研究会を企画したものです。毎月、6ヶ月間開催する計6回の研究会です。できるだけ、相互的かつ、持続的な関わりをもって今後の病棟運営、および治療に活かしていきたいと願っています。さて、第1回11月4日は160名、第2回12月15日は130名の方が来院されました。

第2回は2題、「思春期の心の発達について」と「発達障害以外の児童期特有の精神障害について」、それぞれ、児童精神科担当医が講演を行いました。では、当院の児童精神科の体制や現況や、受診にいたる動機、児童思春期の精神障害の特異性、幼年期から思春期までの親子間での心理的なかかわりなどを解説いたしました。その中で子どもの心は発達し続けているため、障害の症状も流動的であり、同時に親との関係性を含む周辺環境などへの配慮が必要な視点となるなど、実際の診療における視点など具体的な説明となりました。では、児童期に最初に診断される障害として、チック障害、排泄障害、反応性愛着障害などをあげ解説いたしました。特に、子ども

の養育者が子どもと持続的で安定したかかわりを持たない状況で生じる愛着障害は、関心及び質問が多く、アンケートでも、該当する子どもが学校にあり理解が深まったなど感想をいただきました。

今回も約130名の参加及び、活発な質疑応答に、改めてこの領域への関心の高さと、小中高校の先生方の日々のご苦労が窺われるようでした。

第3回は1月18日(水)開催いたします。詳細はホームページをご覧ください。

第4回児童精神科領域研究会 **講演会**

堺市認知症疾患医療センター 小野善郎先生
「こころの障害をもつ子どもと家族の支援について」

2月18日(日) 受付 13:00 開演 14:00

場所 サンスクエア堺
072-221-6703
堺市認知症疾患医療センター
134 泉ヶ丘 泉ヶ丘 泉ヶ丘 2F
〒594-0211 堺市東区泉ヶ丘1-1-1

申し込み (費) 無料
072-279-6103
児童精神科領域研究会事務局 電話 小阪憲司先生

主催 堺市認知症疾患医療センター
協賛 堺市立総合医療センター、堺市立総合医療センター、堺市立総合医療センター、堺市立総合医療センター、堺市立総合医療センター、堺市立総合医療センター、堺市立総合医療センター、堺市立総合医療センター、堺市立総合医療センター、堺市立総合医療センター

協賛 堺市立総合医療センター、堺市立総合医療センター、堺市立総合医療センター、堺市立総合医療センター、堺市立総合医療センター、堺市立総合医療センター、堺市立総合医療センター、堺市立総合医療センター、堺市立総合医療センター、堺市立総合医療センター

阪南病院 研修topic 第1回 クリニカルパス大会

12月16日開催されたパス大会では、13病棟・外来・OT・DC、計16のパスが報告されました。内容は、退院支援パス、緊措・応急入院パスといった職場ごとの特色あるもので、その目的や経過、実施報告などが発表されました。

被災地への活動 現在までの活動を報告いたします。

- 大阪府こころのケアチーム派遣
 - 派遣日程 H23.6/15 ~ 6/20
 - 派遣スタッフ 看護師1名 医師 1名
 - 派遣場所 岩手県宮古 保健所管内
- 日本児童青年精神医学会災害支援活動(予定)
 - 派遣日程 H24.3/6 ~ 3/8
 - 派遣スタッフ 医師1名
 - 派遣場所 仙台市
 - 義捐(援)金 567,331円(12月末時点)



義捐(援)金は、院内にBOXを設置し日本赤十字を通して被災地へ毎月送っています。その他にも受入れ病床確保などできる限りの支援を続けています。写真は宮古保健所からお礼にといただいたキーホルダーです。